

令和3年度公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団事業報告書

砺波市及びその他の公共団体が設置する文化施設及び生涯学習施設、花と緑に関する施設並びに散居村に関する施設等で、文化、芸術及び花と緑の振興により、市民の芸術文化活動、生涯学習活動及び花や緑を愛し守り育てていく活動とともに、散居景観の紹介、保全及び創造並びに農村文化及び伝統文化を継承し、周辺地域を含む自然、人文及び社会の諸事象についての総合的研究を支援し、もって市民の教養と文化を高め、緑豊かな環境づくりと心豊かなまちづくりの推進及び地域社会の健全な発展に寄与するため、令和3年度事業計画に基づき次のとおり実施した。

1 公益目的事業 1

(1) 砺波市文化会館事業

参加協働型事業、普及・鑑賞型事業、共催事業、市民文化交流事業及び広報・ホールメイト事業を以下のとおり実施した。

①参加協働型事業

公演名	期日	内容	備考
吹奏楽振興事業 マーチング講座及びチューリップパレード	※中止	新型コロナウイルス感染症の拡大影響を考慮し中止。	
合唱振興事業 「となみのジュニア合唱団」の育成	7/18(日) ～ 3/19(土)	砺波市内の小・中学生を対象に公募し、「となみのジュニア合唱団」を発足。月2回のワークショップを開催し、最終日には練習の成果を発表する「ハッピーコンサート」を行った。	開催回数 13回 参加者数 延べ134人
オリジナルミュージカル「メリーゴーランド～いちばん大切なもの～」	3/5(土) 6(日)	となみミュージカルキッズを応援する会と砺波市文化会館が協働して、地域で作るオリジナルミュージカルを開催した。多くの観客を迎え盛況のうちに終了した。	大ホール 公演回数 2回 入場者数 1,005人

②普及・鑑賞型事業

事業名	期日	内容	備考
富山県文化ホールネットワーク公演事業「ホールシネマイントヤマ」	10/30(土)	子ども向け作品として「アナと雪の女王」、富山県関連作品として瑞泉寺がロケ地のひとつである「ファンシイダンス」を上映した。	大ホール 入場者数 146人

めざましクラシックス in となみ	3 / 13 (日)	高嶋ちさ子、軽部真一をメインに、スペシャルゲスト May J. を迎え、カジュアルなクラシックコンサートを開催した。軽妙なトークと質の高い演奏、歌唱で満席に近い来場者を魅了した。	大ホール 入場者数 1,100人
平原綾香 CONCERT TOUR 2020-2021 ~MOSHIMO~	3 / 21 (月・祝)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により9月5日(日)から再延期された平原綾香コンサートを開催した。2年越しの開催となり待ちわびていた多くの来場者が圧巻のステージを堪能した。	大ホール 入場者数 850人

③共催事業

事業名	期日	内容	備考
NHK 公開収録 新・BS 日本のうた	4 / 15 (木)	NHK 富山放送局と共催で、山内恵介、小林幸子など豪華アーティストが出演し公開収録を行った。客席使用を半分にし、事前抽選により当選した方のみ入場できる対応をとった。申込総数6,962通、13,837人。	大ホール 出演者 9人 入場者数 495人
庄西中学校吹奏楽部 チューリップコンサート	5 / 5 (水・祝)	新型コロナウイルス感染症の拡大影響により中止となった大阪桐蔭高等学校吹奏楽部特別演奏会に代わるコンサートを開催。全日本アンサンブルコンテストで金賞を受賞した演奏などが披露され、大盛況であった。	大ホール 入場者数 午前269人 午後465人
北日本民謡舞踊 砺波大会	7 / 4 (日) ※次年度へ延期	新型コロナウイルス感染症の拡大影響を考慮し次年度へ延期。	
NHK 全国学校 音楽コンクール 富山県コンクール	8 / 4 (水) 5 (木)	NHK主催による、小・中・高校の児童・生徒を対象とした合唱の地区コンクールを新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため無観客で開催。	大ホール 参加 小学校3校 中学校7校 高等学校6校
MYSTERY NIGHT TOUR 2021 稲川淳二の怪談ナイト	9 / 11 (土)	稲川淳二の怪談話のステージを、エンタメスタイル主催、財団共催により開催。感染対策の強化として、グループディスタンス方式へ変更し、当日、座席移動の希望を確認し対応した。	大ホール 入場者数 286人
富山県民芸術文 化祭	9 / 18 (土) ~ 20 (月・祝) ※次年度へ延期	新型コロナウイルス感染症の拡大影響を考慮し次年度へ延期。	

④市民文化交流事業

事業名	期 日	内 容	備 考
砺波市文化協会・ 安城文化協会交流 事業	12月	文芸誌の交換を行なった。 『散居の里』と『明治川』各30冊	
	※中止	俳句合同吟行会による訪問交流は、新 型コロナウイルス感染症の影響によ り中止。	
サマーフェスティ バルin砺波チュ ーリップ公園「ふる さと盆おどり」	8/21(土) ※中止	新型コロナウイルス感染症の影響に より中止。	
チューリップ公園 KIRAKIRA ミッシ ョン2021	12/10(金) ～25(土)	文化会館前に光のディスプレイを設 置し、来館者および来園者を楽しませ た。	公園入場者数 32,000人

⑤広報事業

部門名	期 日	内 容	備 考
広報となみ	隔月 (奇数月号)	自主事業PR、催物案内等を掲載。	6回
メディア広報 (KNB)	毎月第1月曜	KNBラジオ「でるラジ」(電話出演4分) にて催物紹介	12回
メディア広報 (エフエムとなみ)	隔週木曜、金曜	「スクランブルとなみ」(収録10分) にて催物紹介。	24回収録 48回放送
インターネット 広報事業	随時	ホームページ、ツイッター、インスタ グラムにて、自主事業PR等の情報発信を 実施。	
ホールメイト 事業	随時	会員(年会費1,000円)を募集し、隔月 で催事情報の送付、主催事業5%割引、 先行販売等を実施。昨年度は自主事業の 中止が相次いだことから、2020年度会員 は会員資格を1年間延長した。	2020年度加入者 75人 2021年度加入者 51人

(2) 砺波市文化会館施設管理運営事業

① 施設利用状況

区 分		利用日数			利用者数		
		3年度	2年度	利用対比 R3/ R2	3年度	2年度	利用対比 R3/ R2
大 ホ ー ル	公益目的 利用日数	163日	87日	187.4%	人 32,793	人 21,373	% 153.4
	収益目的 利用日数	7日	17日	41.2%			
	利用日数 合 計	170日	104日	163.5%			
	利 用 率	57.0%	36.9%	—			
そ の 他 (4 部 屋)	公益目的 利用日数	740日	622日	119.0%	人 8,814	人 7,061	% 124.8
	収益目的 利用日数	52日	54日	96.3%			
	利用日数 合 計	792日	676日	117.2%			
	利 用 率	64.7%	54.7%	—			
合 計	利用日数	962日	780日	123.3%	人 41,607	人 28,434	% 146.3

項 目	公益目的事業	収益目的事業	備 考
令和3年度	0.957	0.043	
令和2年度	0.850	0.150	

※利用日数と各施設面積の積数による。

② 建築・設備機器の管理に万全を期すため、舞台機構、空調設備等の保守点検を実施、施設利用者の安全で快適な利用環境確保に努めた。

(3) 砺波市美術館事業

企画展事業、常設展事業、芸術文化活動支援事業、教育普及事業及び広報事業を実施した。

①企画展事業

名 称	会 期 (開催日数、休館日除く)	内 容	入場者数 (人)
2021 チューリップフェア特別展 魔法の美術館	4/9 (金) ～ 6/16 (水) (65日間)	注目のアーティストが手がける光や影、音や映像などを使った体験型の10作品で構成。子どもから大人まで作品と遊びながら不思議なイリュージョンの世界を紹介した。 (フェア期間中は、新型コロナウイルス感染対策として1日の観覧時間を区切り、毎回70名の入場制限の実施を行った。) (企画展示室)	12,355
砺波市・リッセ市姉妹都市締結30年 チューリップ友好交流展	4/1 (木) ～ 5/5 (水・祝) (30日間) チューリップフェア期間を含む	砺波市とオランダリッセ市との姉妹都市締結30年を記念しリッセ市ブラックチューリップミュージアムの所蔵品とオランダボタニカル画家協会の作品、砺波市オランダ友好交流協会の活動を紹介した。 (市民ギャラリー)	36,129
となみ野作家シリーズ6 芝 教純 展	6/26 (土) ～ 7/28 (水) (32日間)	砺波市、南砺市、小矢部市に在住する優れた美術作家を紹介する「となみ野作家シリーズ」の第6回目は、南砺市在住の洋画家 芝教純(1949年～)の油彩画作品46点を展示した。 (企画展示室)	2,083
貝殻旅行 -三岸好太郎・節子展-	9/13 (月) ～ 11/7 (日) (53日間)	夭折した画家三岸好太郎(1903～1934)とその妻で女性洋画家の先駆的存在となった節子(1905～1999)の画業を油彩画82点、関連資料9点と愛蔵品で二人の世界を紹介した。 (企画展示室、常設展示室1、2、3)	2,708
館蔵品展Ⅰ特集-追悼 「表 立雲」	11/15 (月) ～ 12/5 (日) (20日間)	令和3年の5月26日に逝去した書家の表立雲の収蔵作品と、彼が主宰し、後進を育てた前衛書グループ「玄土社」同人の協力出品をしてもらい、合計48点で会場構成し、表立雲を追悼する特集展示を行った。 (企画展示室)	1,360
富山県美術連合展巡回展	12/11 (土) ～ 12/26 (日) (16日間)	富山県美術連合会の巡回展。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門の合計60点で展示を行った。 (企画展示室)	929
館蔵品展Ⅱ 特集「冬景色」	1/27 (木) ～ 2/13 (日) (17日間)	砺波市美術館では1,600点を超える作品を収蔵している。今回は、日本画、洋画、版画、写真の分野の収蔵作家から42点「冬景色」をテーマに創作された作品を選んで紹介した。 (企画展示室)	617

② 常設展事業

名 称	会 期 (開催日数、休館日除く)	内 容	入場者数 (人)
常設展	210日間	収蔵品の展示を常設展示室で順次公開した。 常設1 工芸の秀作展 館蔵品展 (4/1-4/18) 工芸の秀作展 館蔵品展 (4/20-6/16) 特集：花嶋伊都子展 (6/26-7/28) 工芸の秀作展 館蔵品展 (11/13-12/26) 工芸の秀作展 館蔵品展 (1/6-2/27) 工芸の秀作展 館蔵品展 (3/5-3/27) 常設2 版画の世界Part.2展 (4/1-5/9) 井津建郎展 (5/11-6/16) ロベール・ドアノー展 (6/26-7/28) ジャンルー・シーフ展 (11/13-12/26) 秋山庄太郎展 (1/6-2/27) 日本画の世界展 (3/5-3/27) 常設3 藤森兼明展 (4/1-4/4) 下保昭展 (4/9-5/9) 清原啓一展 (5/11-6/16) 永原廣展 (6/26-7/28) 川辺外治展 (11/13-12/26) 加賀谷武展 (1/6-2/27) 林清納展 (3/5-3/27)	39,960

③ 芸術文化活動支援事業

名 称	会 期 (開催日数、休館日除く)	内 容	入場者数 (人)
第17回砺波市美術展	8/7(土) ～ 8/15(日) (9日間)	砺波市在住・在勤・在学者を対象とした公募展。日本画13点、洋画23点、彫刻5点、工芸14点、書41点、写真24点の6部門合計120点を展覧した。 (8/16～29の期間は、新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館した。) (企画展示室、常設展示室2・3)	794
第18回 砺波市美術協会会員展	3/5(土) ～ 3/27(日) (23日間)	砺波市美術協会の会員展。日本画15点、洋画18点、彫刻6点、工芸15点、書25点、写真9点の6部門88点の作品を展示した。 (企画展示室、市民ギャラリー)	1,840

④ 教育普及事業

名 称	日 数	内 容	入場者数 (人)
子どもの造形アトリエ	44	新型コロナウイルス感染症予防対策のため今年度は、7月から幼稚園・保育所年長・小学校1、2年生を対象に実施した。	1,217

講演会・ワークショップ	15	企画展に併せた講演会やギャラリートークを実施し、親子で楽しめる小規模なワークショップを新型コロナウイルス対策を十分に行い開催した。	270
調査研究	年間	美術情報の収集、調査、研究、次年度の企画展の調査と準備を行った。 今年度から常設展示室で作品解説パネルの設置を行った。	—

⑤ 広報事業

広報	年間	ポスターやチラシの配布、毎月発行の市広報、エフエムとなみ、ケーブルテレビ、美術館ホームページ、インターネットなどで情報発信を行った。 休館中は、SNS（ツイッター）等を活用した情報発信を行い。三岸好太郎・節子展では、ホームページや、新聞での広告告知、共催放送局では告知CMを放送した。	—
----	----	---	---

- ⑥ 砺波市美術振興事業資金を管理し、運用利益を市展の奨励に充て美術の振興に努めた。
- ⑦ となみ芸術文化友の会の活動を支援し、共同で公開コンサートなどの事業を開催した。
- ⑧ 建築・設備機器及び収蔵作品の管理に万全を期すため、空調設備の保守点検のほか清掃委託等を実施し、施設利用者の安全で快適な利用環境の確保に努めた。

⑨ 事業利用状況

区分	利用日数			利用者数		
	3年度	2年度	利用対比 R3/R2	3年度	2年度	利用対比 R3/R2
企画展示室	日 235	日 226	% 104.0	人 22,686	人 13,011	% 174.4
常設展示室	210	268	78.4	39,960	7,353	543.5
市民ギャラリー (自主事業単独使用)	30	6	500.0	637	71	897.2
市民アトリエ (自主事業単独使用)	56	21	266.7	1,384	286	483.9
計				64,667	20,721	312.1

*常設展示室・市民ギャラリーの日数・入場者人数の中にチューリップフェア期間中の数は含んでおりません。

(4) 砺波市美術館管理運営事業

① 施設貸与利用状況

区 分	利用日数			利用者数		
	3年度	2年度	利用対比 R3/R2	3年度	2年度	利用対比 R3/R2
市民ギャラリー	日 47	日 51	% 92.2	人 2,538	人 3,806	% 66.7
市民アトリエ	98	84	116.7	1,472	1,240	118.7
計				4,010	5,046	79.5

(5) 松村外次郎記念庄川美術館

企画展事業、芸術文化活動支援事業、教育普及事業、常設展事業等を以下のとおり実施した。

① 企画展事業

名 称	会 期 (日数)	内 容	入場者数 (人)
洋画 Sparkling! -2021in 庄川展-	4/3(土) ～ 5/5(水・祝) (30日間)	フェア特別展として、県内在住洋画家 約69名の近作新作を展示した。	883
洋画家 清原啓一と 藤森兼明 展	5/15(土) ～ 5/30(日) (14日間)	共に日本藝術院会員である市出身洋画 家の作品30点を展示した。	359
岡部俊彦 奇想天外・岡部隼 -無無設層輪帯超強螺旋伸-	6/12(土) ～ 7/11(日) (26日間)	美術館全館と前庭を使い、市在住の造 形作家岡部俊彦の空間造形作品を展示 した。	905
高島 裕展 -民族、郷土、愛恋の歌人-	8/28(土) ～ 9/26(日) (26日間)	短歌及び資料188点より、庄川町在 住の歌人高島裕の軌跡と詩の世界を展 示した。	346
かがやき☆はんが -2021in 庄川展-	10/9(土) ～ 11/7(日) (26日間)	個性豊かな絵画表現に努め、活動を続 けている県在住の日本画家約65名の 近作新作を展示した。	617
日本画 燦々 -2021in 庄川展-	11/20(土) ～ 12/19(日) (26日間)	個性豊かな絵画表現に努め、活躍を続 けている県内在住の日本画家の新作 558点を展示した。	793

② 芸術文化活動支援事業

名 称	会 期 (日数)	内 容	入場者数 (人)
水きらら・人・花展	2/19(土) ～ 3/21(月・祝) (27日間)	令和3年度実技講座受講者作品と講師作品50点を展示した。	377

③ 教育普及事業

名 称	会 期 (日数)	内 容	入場者数 (人)
第28回 中学生清流展	7/24(土) ～ 8/15(日) (23日間)	庄川河畔を会場に行った砺波地区中学生写生会の制作より審査し入選入賞作100点を展示した。	738
松村外次郎と 庄川のこどもたち展	1/22(土) ～ 2/6(日) (20日間)	庄川小学校2年生の図画「庄川にもいたらいいな こんな魚」31点と松村外次郎の作品7点を展示した。	115
実技講座	6/26(土)、27(日) 8/7(土)、8(日・祝) 9/25(土)、26(日) 11/27(土)、28(日) (8日間)	県内講師を招き、さまざまな技法の実技講習を行った。	23
調査研究	年 間	松村外次郎、藤森兼明らの作品研究、企画展・常設展に関する出品作家の調査を行った。	

④ 常設展事業

名 称	会 期 (日数)	内 容	入場者数 (人)
常設展示	4/1(木) ～ 3/31(木) (287日間)	収蔵美術品より松村外次郎の代表作を展示した。アプローチギャラリーは展示入替を5回行った。	5,597

⑤ 広報事業

広 報	年 間	ポスター、チラシの配布や毎月発行の市広報、エフエムとなみ、ケーブルテレビ、美術館ホームページ、マスコミなどで情報発信を行った。	
-----	-----	---	--

⑥ 施設利用状況

項目	利用日数			利用者数		
	3年度	2年度	利用対比 R3/R2	3年度	2年度	利用対比 R3/R2
企画展	198日	193日	102.6%	5,133人	4,356人	117.8%
常設展	287日	289日	99.3%	5,597人	5,015人	111.6%
実技講座	8日	4日	200.0%	23人	22人	104.5%

(6) 庄川水資料館博物館事業

① 常設展示室において、「流木に生きた先人たち 流木と庄川」「川を治め、川を利す 庄川を生きる」のテーマに沿い、流木作業に携わった流送夫の生活資料や、治水・利水・流送に関する資料を展示した。また、松原遺跡（縄文時代）、小牧ダム関連資料も展示し、庄川の歴史を分かりやすく学べる場を設けた。

② 通路壁面を利用したミニギャラリーにおいて、広田郁世展、大野一秀展、中学生清流展作品展等の美術館と連携した企画展を開催し、資料館、美術館ともに見ていただくよう努めた。

展覧会名	会期 (日数)	内容	入場者数 (人)
広田 郁世 日本画展 -向こうへ-	4/17(土) ～ 5/23(日) (33日間)	山道や河川敷など、身近な風景を描いてきた画家(射水市)の「向こう」をテーマにした日本画9点を展示した。	712
西島 永恵 書展	6/5(土) ～ 7/11(日) (32日間)	市展大賞や奎星展特選を受賞した砺波市在住の書家の近作6点を展示した。	364
中学生清流展作品展	7/24(土) ～ 8/15(日) (23日間)	庄川美術館「中学生清流展」と同じ会期にて平成22年度入賞作9点を展示した。	382
宮本 明日香 洋画展 -その旋律は光の中に-	9/4(土) ～ 10/17(日) (30日間)	光を意識した色彩豊かな抽象表現を手掛ける、富山市在住の洋画家のモダンアート展出品作ほか9点を展示した。	491
斉藤 晴之 漆芸展	10/23(土) ～ 11/23(火・祝) (28日間)	南砺市在住の漆造形作家による、日展特選作や現代美術展出品作を含む11点を展示した。	1,179
大野 一秀 洋画展	12/4(土) ～ 1/16(日) (32日間)	砺波市在住の洋画家によるヨーロッパの聖堂を描いた光風会出品作や花、舟戸ダム湖の小品など15点を展示した。	250

③ 施設利用状況

施設名	利用日数			利用者数		
	3年度	2年度	利用対比 R3/R2	3年度	2年度	利用対比 R3/R2
庄川水資料館	287日	289日	99.3%	3,733人	2,447人	152.6%

(7) 庄川水資料館施設貸与事業

① 映像ホール利用状況

年度	開催日数	映像ホール貸与日数
令和3年度	287日	0日
令和2年度	289日	0日

項目	公益目的事業	収益目的事業	備考
令和3年度	1.000	0.000	
令和2年度	1.000	0.000	

※貸与日数と各施設面積の積数による。

(8) 庄川生涯学習センター事業

① 施設の特徴を生かし、日本の伝統芸能の公演や最近話題の映画を鑑賞する機会を提供した。

公演名	期 日	内 容	備 考
庄川名画祭 「リトルプリンス 星の王子さまと私」	7 / 3 1 (土)	地域の児童生徒に情操教育の支援となる 名作アニメを上映した。	入場者数 73人
庄川落語会 「春風亭昇太・ 桂宮治」	9 / 2 3 (木・祝)	地域住民の方々に古典芸能、話芸の楽し さに触れる機会を提供した。	150人
庄川名画祭 「雨あがる」	10 / 1 6 (土)	潤いのある生活環境づくりの一環とし て、一般向けに名作時代劇を上映した。	110人
庄川名画祭 「どら平太」	12 / 1 8 (土)	豊かな生活環境づくりの一助として、一 般向けに話題の時代劇を上映した。	51人

② 広報事業

広 報	通 年	ポスター、チラシの配布や毎月発行の市広報、 ホームページ、エフエムとなみ、民放放送等マ スコミなどを通じて情報発信を行った。	—
-----	-----	--	---

(9) 庄川生涯学習センター施設貸与事業

① 施設利用状況

施設名	区分		利用日数			利用者数		
			3年度	2年度	利用対比 R3/ R2	3年度	2年度	利用対比 R3/ R2
庄川生涯学習センター	多目的ホール	公益目的 利用日数	64日	53日	120.8%	4,830人	4,265人	113.2%
		収益目的 利用日数	11日	14日	78.6%			
		利用日数計	75日	67日	111.9%			
		利用率	28%	24%	—			
	その他 (7部屋)	公益目的 利用日数	242日	247日	98.0%	13,417人	11,436人	117.3%
		収益目的 利用日数	123日	106日	116.0%			
		利用日数計	365日	353日	103.4%			
		利用率	20%	18%	—			
	合計	利用日数	440日	420日	104.8%	18,247人	15,701人	116.2%
		利用率	21%	19%	—			

項目	公益目的事業	収益目的事業	備考
令和3年度	0.779	0.221	
令和2年度	0.759	0.241	

※利用日数と各施設面積の積数による。

② 各設備等の保守点検修繕等を適時適切に実施し、利用者の安全で快適な環境確保に努めた。

2 公益目的事業2

(1) 第70回砺波チューリップフェアについて

ア 総括

第70回砺波チューリップフェアは、「受け継ぐ想い70回 そして未来へ」をテーマに4月22日(木)から5月5日(水・祝)までの14日間にわたり、開催いたしました。

まず、チューリップの開花状況につきましては、昨年年末から本年1月上旬にかけて一時的な大雪に見舞われたことから、例年よりやや遅く遮光ネットを設置するなど注意深く開花調整に努めてきた結果、4月22日の開幕には会場全体で約5割、そして会期前半は天候に恵まれたこともあり4月27日には満開宣言をし、その後、会期後半は気温が予想以上に高くならなかったこともあり、会期の最終日まで色とりどりの美しいチューリップが来場者に笑顔の花を咲かせました。

今回、新型コロナウイルス感染症対策として、フェア史上初めて日時指定入場券の販売システムの導入による来場者の時間的分散化をはじめ、大人気スポットである「花の大谷」を美術館前に移動したことによる面的分散化を図るとともに、来場者へのマスク着用、手指消毒、検温測定の徹底を図ったほか、来場者把握のため入場者カードを記入にご協力をいただきました。また、会場内では、予め飲食可能エリアを設定し黙食等の徹底を図り、会場内では感染対策のための園内放送や会場内での定期的な巡回と声掛け等を積極的に実施しました。さらに、接触機会を減らすこととして、今回のフェアではスタンプラリーや体験型イベントなどの実施を大幅に縮小しました。

期間中の来場者につきましては、会期前半は晴天の日が多く週末もあったことから出足は好調に推移しましたが、会期後半は天候に恵まれなかったことや緊急事態宣言等の発令による全国的な移動制限や自粛ムードの高まりなどから、例年より半減したものの14万8千人の方々に来場いただき、コロナ禍の中で安全・安心に無事に終えることができました。

今回のチューリップフェアに関する主な数値結果は、次のとおりです。

◆入場者数	148,000人	(R1 325,000人)	54.5%減
外国人入場者数	330人	(R1 8,200人)	96.0%減
◆駐車台数 自家用車	23,271台	(R1 37,680台)	38.2%減
バス	44台	(R1 445台)	90.1%減
◆JR城端線割引利用者 (割引券配布枚数)	2,328人	(R1 5,686人)	59.1%減
◆砺波市美術館入場者	35,492人	(R1 55,870人)	36.5%減
魔法の美術館入場者	7,840人		
◆シャトルバス利用者	8,439人	(R1 41,619人)	79.7%減

イ 新型コロナウイルス感染症対策

開催に当たり、新型コロナウイルス感染症対策として、下記のとおり対策を強化しました。

① 指定時間入場の導入

1日7区分の入場時間を指定した入場券を販売することにより来場者の分散化を図りました。

③ 入場券販売システムの導入

初めて、入場券の販売システムを導入し、発券状況及び着券(来場人数)状況を運営本部において、リアルタイムに一元管理を図ることにより、場内の混雑状況の把握に努めました。

③ 来場者の体温測定・手指消毒の徹底等

来場者には、会場への入園時に体温測定、手指消毒を実施、マスク着用、来場者カード記入の徹底を図りました。また、新型コロナ接触確認アプリ(COCoA)の導入の協力を呼び掛けました。スタッフにおいても、毎朝の打合せ時に体温測定・手指消毒を実施し、マスク着用の徹底を図り、来場者との接触機会の多い配置場所では、フェイスガードの着用するなど感染症対策を図りました。

④ オゾン発生機の設置

会場内の各屋内施設においては、オゾン発生機を設置しました。

⑤会場レイアウトの変更等

北門施設の入退場ゲートの完全分離を図り、入退場者の接触機会の軽減に努めるとともに、大人気スポットである「花の大谷」を美術館前に移動し、野外ステージ前の混雑緩和を図りました。また、チューリップスカイウォークを一方通行としたほか、新チューリップタワーの二重螺旋階段を昇り降りの一方通行とすることにより、待機列の緩和と接触機会の軽減を図りました。※また緊急事態宣言等により、感染拡大を防止する観点から不要不急の都道府県間の移動を極力控えるため、当該都府県在住の希望者には購入済みチケット代金の払戻し対応を実施しました。

ウ チューリップフェア開会式とブルーインパルス展示飛行

開会式に先立ち3月末で完成した新チューリップタワーの完成式を行い、来場者とともに、その完成を祝いました。初日は県内外からの観光客や開会式招待者、市民等の1万3千人が来場し、色鮮やかなチューリップを満喫していただきました。

好天に恵まれた開会式には、富山県知事をはじめ、駐日オランダ王国大使、公使ご夫妻、国の関係各機関、姉妹都市のむかわ町、友好交流都市の千歳市及び岩見沢市、各種(フラワー都市、飛越能観光都市は懇談会など)交流都市、県内(県西部)市長、球根栽培・緑化関係の諸団体、市内関係者など多くの方々にご臨席いただきました。

さらに、開会式後には、新旧ツインタワーの上空で、富山県で初となる航空自衛隊第4航空団による「ブルーインパルスの展示飛行」が行われ、青い空に白いスモークで、6輪からなる大きな桜の花やチューリップの花言葉の「愛」を表すハートマーク、新型コロナウイルス収束を願ったフェニックス(不死鳥)など、鮮やかに描かれました。

フェア会場や市内全小中学生も各学校から眺めたほか、観覧用に設けたビュースポットを始めとする市内各所や市内全域でこの展示飛行をご覧いただくことができ、コロナ禍の中、砺波市民をはじめ、来場者、医療に従事する関係者や医療施設等に入院・入所されている方など多くの方々に、勇気と希望を与えてくれました。

第70回記念フェアとして、歴史を刻む開会式にふさわしい開幕となりました。

エ 連携イベント・連携会場

◆せんだん山水仙そばまつり (5/1~2)	1, 200人 (参考:R1	2, 700人)
◆新屋敷芝桜まつり	3, 900人 (参考:R1	5, 000人)
◆庄川遊覧船乗客数	500人 (参考:R1	1, 600人)
◆かいによ苑	250人 (参考:R1	450人)
◆となみ散居村ミュージアム	2, 800人 (参考:R1	2, 300人)
◆庄川美術館	500人 (参考:R1	350人)
◆庄川水資料館	400人 (参考:R1	350人)
◆出町子供歌舞伎曳山会館	300人 (参考:R1	1, 100人)
◆砺波郷土資料館	2, 900人 (参考:R1	30, 000人)

(2) 花と緑の振興事業

花と緑の振興を図るため、次のとおり事業を実施した。

① 企画展示

花と緑の普及啓発のため、特別企画展秋季は「第20回となみチューリップ球根まつり」、冬季は「第36回春を呼ぶチューリップ展」を開催した。春季「チューリくん自慢のコレクション展」は、チューリップフェアと同時開催した。

また、小企画展として「ハンギングバスケット展」や「第25回押花展」、「チューリップ四季彩館スクール合同作品展」等を開催した。

ア 特別企画展実施報告

名 称	会 期 (日数)	内 容	人数 (人)
春季特別企画展 「チューリくん自慢の コレクション展」	4/22(木) ～ 5/5(水・祝) (14日間)	砺波市のシンボルキャラクター「チューリくん」の家の前に広がる花壇に、東京オリンピックにちなみメダルの色「ゴールド」や世界の国や都市名が入ったチューリップを展示。 併せて、富山県が育成(品種改良)し3月に発表された新品種や皇室献上品種の紹介。	チューリップフェア と同規模
秋季特別企画展 「第20回となみチュー リップ球根まつり」	10/8(金) ～ 10/10(日) (3日間)	球根産地砺波をPRするイベントとして、県産球根100品種以上を販売。全品通常価格の2割引きとし、セット商品として皇室献上品種セットや福袋を用意した。球根詰め放題や寄せ植え体験は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	10,000
冬季特別企画展 第36回春を呼ぶ チューリップ展 「花が彩る 星の数ほど 愛と希望(ゆめ)」	1/27(木) ～ 2/13(日) (17日間)	促成栽培で咲かせた1万本のチューリップと早春の花々を展示し、ひと足早い春の訪れが感じられる展示を行った。 あわせて、チューリップの切花販売コーナーを設け砺波産切花のPRを行うとともに、ミニSLに乗車しながら展示を観覧できる内容にした。	3,900

イ 小企画展実施報告

名 称	会 期 (日数)	内 容
初夏を彩るコンテナ ガーデン展	5/14(金) ～ 5/23(日) (10日間)	デルフィニウムやペンステモンなどを使用した花色を楽しむ寄せ植えを展示した。 (ワンダーガーデン)

香りのハーブ展	6 / 4 (金) ～ 6 / 13 (日) (10日間)	ラベンダーやローズマリー、セージなど様々な香りを持つハーブを展示した。 (屋外展示場)
いろいろなペチュニア	7 / 2 (金) ～ 7 / 25 (日) (24日間)	一重咲きや八重咲、2色咲き、模様入り、斑入り葉等様々なペチュニア約20品種を展示した。 (ワンダーガーデン)
第27回押花展	7 / 30 (金) ～ 8 / 15 (日) (17日間)	ふしぎな花倶楽部本部講師の東昌子氏の押花作品原種系チューリップ品種を中心に約14点展示した。 (2階セミナールーム)
秋を彩るコンテナガーデン展	9 / 13 (月) ～ 9 / 26 (日) (14日間)	トウガラシやルドベキアなど秋の草花を使った寄せ植えを展示した。 (屋外展示場)
秋を彩るハンギングバスケット展	10 / 8 (金) ～ 10 / 17 (日) (10日間)	日本ハンギングバスケット協会北陸支部の協力によりハンギングバスケット12点を展示した。 (風車前広場)
いろいろな多肉植物	11 / 12 (金) ～ 11 / 21 (日) (10日間)	秋になると紅葉するものや形がユニークな多肉植物約50品種を展示した。 (ワンダーガーデン)
四季彩館スクール合同作品展	11 / 26 (金) ～ 12 / 5 (日) (10日間)	花の和紙ちぎり絵、三助焼陶芸、水引あそびのお花たちコースの受講生の作品を展示した。 (2階セミナールーム)
クリスマスローズ展	2 / 18 (金) ～ 2 / 27 (日) (10日間)	色や咲き方、花形、模様の異なるクリスマスローズ(学名:ヘレボラス)約30点の展示。 (ワンダーガーデン)
球根植物のいろいろ	3 / 4 (金) ～ 3 / 13 (日) (10日間)	原種のチューリップやヒヤシンス、ムスカリの水耕栽培、アネモネやラナンキュラスなど春咲きの球根植物の楽しみ方を紹介した。 (ワンダーガーデン)

② 花と緑に関する教室、講演会の開催

花と緑に親しみ、楽しむため花と緑に関する教室及び講演会を開催した。

ア 教室実施報告

1) 園芸教室

名 称	日数	内 容	人数 (人)
花と緑のコース [全9回]	9	草花の土作りや防除について、園芸の基礎を学ぶ教室を開催した。	17
ハンギングバスケット コース [午前・午後 全5回]	5	季節のハンギングバスケットを製作する教室を開催した。	39

2) フラワーアート講座

名 称	日数	内 容	人数 (人)
花の和紙ちぎり絵 初級コース [全5回]	5	バラやリンドウなどの花をデザインしたちぎり絵を製作する教室を開催した。	5
花の和紙ちぎり絵 中級コース [全5回]	5	花や植物、自然をテーマにしたちぎり絵の大作を製作する教室を開催した。	4
三助焼陶芸コース [全5回]	5	三助焼で花器を製作する講座を開催した。	8
水引あそびの お花たちコース [全7回]	7	日本の伝統工芸である「水引」を用いて花を製作した。	6

3) 特別講座

名 称	日数	内 容	人数 (人)
楽しいキク作りコース [全7回]	7	キク苗の定植、剪定、夏に向けての管理など季節ごとの手入れについて学ぶ講座を開催した。	30

イ 講演会の開催

花と緑の推進と普及を図るため「花と緑のフォーラム」を開催した。

日 時 3月12日(土) 午後1時00分～

場 所 四季彩館チューリップホール1

花と緑の銀行砺波支店長表彰、記念樹贈呈、砺波市緑花推進市民会議、事例発表

参加者数 150人

③ 情報の発信

広報となみを活用して、チューリップ四季彩館の特別展や常設展、園芸講座等に関する情報を発信した。

④ 緑花に関する事業の推進

市内公共施設や各地区の緑花推進協議会、協定地域へ花苗の配布、地域の花づくり推進補助を行い、地域緑花を推進した。

私たちの夢花壇（市民参画花壇）の推進及び砺波市花と緑のコンクールを行い、緑花意識の高揚に努めた。コンクール応募総数69件、10月の球根まつり会場内で表彰式を実施した。

砺波花とみどりの少年団や砺波嵐山桜保存会の活動を支援した。

市内の保育所、幼稚園、認定こども園の年長児クラス（計20施設）へ、チューリップに親しみを持ち、花と緑を愛する心をより育てていただけるよう、水栽培セットを11月に購入し配付した。

砺波駅周辺や砺波インターチェンジ付近、庄川ふれあい花街道などにおいて、市街地活性化も含めて緑花推進を図るため、花の植込みや樹木の維持管理を行った。

花と緑に包まれた美しいまちづくりの推進を図るため、結婚、誕生、新築の節目の方々へ、記念樹を配付した。

花と緑の銀行機関紙等に市内の緑花活動に関する内容を掲載するなど、花と緑のまち砺波市をPRした。

緑の相談員と連携し、保存樹の保全・継続・廃止に関して、事務事業を推進した。

新規事業として、花いっぱいパートナー事業（申込みのあった市内事業所に樽プランター、土、チューリップ球根を無償で提供する）を実施した。11事業所：25個配付。

④ 体験企画

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催しなかった。

(3) チューリップ四季彩館の管理運営事業

① 施設の管理

指定管理者として、チューリップ四季彩館の施設管理を適正に行った。年間を通じて展示スペース及びホールの施設管理を行い、照明設備や空調設備、消防設備点検を実施するとともに、消雪装置や照明灯修繕など施設維持管理を行った。

施設利用状況

区 分	展 示 室 ※うち台湾利用者数	特別企画展示	ホール利用
利用 者 数	26,606人 ※ 3人	13,900人	12,476人

項 目	公益目的事業	収益目的事業	備 考
令和3年度	0.853	0.147	
令和2年度	0.855	0.145	

※利用日数と各施設面積の積数による。

② 常設展示の企画、運営

年間テーマを「季節を彩る花々」とし、チューリップパレスのチューリップ展示とともに、季節の花々の展示を行った。

常設展示実施報告

テ ー マ	期 間	
季節を彩る花々 ～春～	3/26 (金) ～	5/11 (火)
季節を彩る花々 ～初夏～	5/14 (金) ～	6/15 (火)
季節を彩る花々 ～夏～	6/18 (金) ～	7/ 6 (火)
季節を彩る花々 ～盛夏～	7/ 9 (金) ～	8/15 (日)
季節を彩る花々 ～秋～	9/13 (月) ～	11/ 3 (水・祝)
季節を彩る花々 ～クリスマス～	11/ 6 (土) ～	12/26 (日)
季節を彩る花々 ～新春～	1/ 4 (火) ～	1/25 (火)
季節を彩る花々 ～早春～	1/28 (金) ～	3/22 (火)

③ 展示植物の育成

当財団で栽培した植物を館内装飾として活用し、花展示の充実を図った。

④ 展示花壇及び植栽の管理等

四季彩館周辺樹木や彩りガーデン（県内で生産されている300品種花壇）などの管理を行った。また、屋外展示場では、香りのハーブ展など小企画展を実施した。

⑤ チューリップ四季彩館への招客及び広告宣伝事業の実施

ホームページに、チューリップフェアとのリンクを設けて情報発信するとともに、フェアの動画（YouTube）、写真などの多様な機能を充実させた。また、英語、中国語（繁体字）のページにより、国外のお客様の誘客と情報発信に努めた。

四季彩館及びチューリップフェアへの誘客のために、動画DVDや写真CDを活用し関係機関に配布しPRに努めた。

部門名	期日	内容	備考
広報となみ	11回/年 ※4月無し	展示、イベント、ショップ等の新商品のPR 講座受講者の募集など	
メディア広報 (新聞、テレビ、ラジオ等)	随時	イベントの新聞広告（折込チラシ含む） イベント情報を提供し取材を受けるなど	
ホームページ、 インターネット広報	随時	ホームページやリップちゃんのブログ、 facebook、Instagramにて、企画展、常設展、 イベント、ショップ等新商品のPR情報発信	
年間パスポート会員 募集	随時	随時会員募集。イベント案内の送付 ※四季彩館及びチューリップフェアの入場が無料	

四季彩館の展示内容やフェア期間中におけるチューリップの開花情報等をブログ、facebook、Instagramを通じて公開するとともに、積極的に情報提供の充実と誘客を図った。

4月に台湾の訪日コンサルティング会社向日遊を介して、日本各地の観光施設と台湾旅行会との情報交換を実施した。（Zoomを使用）

3月にインバウンド回復後を見据え、富山県国際観光課主催の台湾旅行会社の担当者を対象とした「立山黒部・富山・長野・岐阜広域観光オンラインセミナー・個別説明会」（Zoomを使用したオンライン商談会）に参加し、四季彩館とフェアPRを実施した。

⑥ 四季彩館の利用促進の実施

四季彩館の利用促進のため、結婚写真撮影や市内企業商品のPR映像収録の協力など、新たな利用方法の発信を行った。

カフェかくれ庵（喫茶店）や（一社）砺波市観光協会売店部門の魅力アップに協力し、四季彩館利用者の満足度の向上に努めた。

また、チューリップホールを積極的にPRし、利用促進を図った。

（４）チューリップ公園等の管理運営

① 公園施設及び植栽の管理

指定管理者として、チューリップ公園（約69,700㎡）、フラワーロード（約2,900㎡）、フラワーフロンティアエリア（約2,800㎡）及びその周辺の施設や植栽の管理を適正に行った。春のチューリップのほかに、夏花壇として、コキアを中心に植栽し「ハートフルコキア花壇」と名付け、秋まで鑑賞できるように花壇管理に努めた。抜き取ったコキアは、ハウキ作り等に再利用してもらうため、希望者に配布した。

チューリップへの関心と理解を深めるとともに、市民参加型のチューリップフェアを推進するため、小学生によるチューリップ球根植え込み、掘り取り事業を実施した。

チューリップ公園の通年利用と活性化を目的として、五連水車や遊具等施設の点検を実施するとともに、園路灯の取替修繕など維持管理を行った。

また、KIRAKIRA ミッションやマルシェなどのイベント開催に協力し、連携に努めた。

そのほか、毎月第2・第4木曜日を「公園清掃美化の日」と定め、財団職員による清掃活動を行った。

(5) 富山県花総合センターの管理運営

① 施設の管理

指定管理者として、富山県花総合センターの施設管理を適正に行った。温室や本館施設の設備点検及び消防設備点検を行うとともに、園内花壇や温室の管理を行った。

② 花まつり、講座等の実施

ア 花まつり等実施報告

名 称	会 期 (日数)	内 容	人 数 (人)
チューリップフェア 特別展示 「ようこそ となみへ」	4/16(金) ～ 5/5(水・祝) (20日間)	「ようこそ となみへ」をテーマに、展示ホールを世界地図に見立て、その地域が原産の植物と、国名や都市名の付いたチューリップで彩った。また、国内有数の品種数を誇るスイセンほ場では、225品種のスイセンが多くの来場者を楽しませた。	16,000
初夏を彩る花まつり 2021 「アメリカ大陸の花」	6/18(金) ～ 6/20(日) (3日間)	「アメリカ大陸の花」をテーマに、アメリカ大陸原産で県内でも露地栽培が可能な丈夫さと美しさを兼ね備えた、初夏から見頃を迎える宿根草のほか、季節の草花で展示ホールを彩った。	5,000
秋を彩る花まつり 2021 「葉色を楽しむ」	10/15(金) ～ 10/17(日) (3日間)	「葉色を楽しむ」をテーマに、多彩な色や形を楽しめるコリウスや、実だけではなく斑入り葉も楽しめる観賞用トウガラシ、美しい葉色のグラスなどの季節の草花で展示ホールを彩った。また、研修室では、令和3年度県民緑花カレッジ講座「花をきれいに撮る」コース受講生による作品を展示した。	2,193

早春を彩る花まつり 2022 「春の香りを集めて」	2/10(木) ～ 2/13(日) (4日間)	「春の香りを集めて」をテーマに、香りに特徴のあるチューリップやスイセンなどの球根植物と、県内の鉢花生産者が育成したプリムラやストックなど、春の香りが漂う草花で展示ホールを彩った。また、研修室では促成栽培で開花させた150品種のスイセンを展示した。	1,925
---------------------------------	----------------------------------	---	-------

イ 季節展示報告

名 称	会 期 (日数)	内 容
「キク科の植物」	3/19(金) ～ 4/11(日) (24日間)	卒業式シーズンに合わせて県内でも多く栽培されているサイネリアを中心に、早春に花を咲かせる樹木や洋ランなど季節の花々を展示した。
「ゼラニウム」	5/21(金) ～ 6/14(月) (25日間)	花の美しさを楽しむゾーナル系やアイビー系のゼラニウムや、香りを楽しむハーブとしても利用されるニオイゼラニウムを展示した。
「サマーオーキッド」	6/25(金) ～ 7/12(月) (18日間)	パンジーオーキッドと呼ばれるミルトニアや大型のグラマトフィラムなど、初夏から咲く洋ランを展示した。
「パイナップル科の植物」	7/16(金) ～ 8/17(火) (33日間)	夏の室内を彩る花として栽培されているグズマニアやアナナス、葉の発色が美しいネオレゲリアやフリーセアなどのパイナップル科の植物を展示した。
「アガベとアロエの仲間」	9/27(月) ～ 10/22(金) (26日間)	中南米原産で姿形の面白さが人気の多肉植物アガベと、南アフリカ原産で見た目の面白さから注目されているアロエの仲間を展示した。
「紅葉を楽しむ多肉植物」	10/25(月) ～ 11/14(日) (21日間)	中南米原産で色鮮やかな葉が重なってロゼットを形成するエケベリアの中でも、晩秋から春にかけて日によく当たると、葉がきれいな紅葉色に染まる品種を中心に展示した。
「クリスマス」	11/19(金) ～ 12/24(木) (36日間)	県内の鉢花生産者が育成した最新品種を含むシクラメンと、高さ5mのクリスマスツリーを赤とゴールドのボールオーナメントとリースやリボン、1,600球の電球で華やかに彩った。
「お正月(ハボタン)」	1/5(水) ～ 1/24(月) (20日間)	「お正月」をテーマに、15品種900鉢のハボタンで今年の干支である「寅」を可愛らしく象った。また、会場内ではセンリョウやマンリョウ、苔玉などの縁起植物のほか、切花を使ったお正月アレンジ、凧や扇子、羽子板などの装飾でお正月を演出した。
「キク科の植物」	3/10(木) ～ 4/4(月) (26日間)	卒業式シーズンに合わせて県内でも多く栽培され、栽培農家独自の品種も生まれているサイネリアを主に、ユリオプスデージーやオステオスペルマムなどの鉢物を展示した。

③ コンテスト・講座等事業

ア コンテスト

名 称	会 期 (日数)	内 容	人数 (人)
第12回 コンテナガーデン コンテスト	5/30(日) ～ 6/20(日) (21日間) [植込日 : 5/30] [審査日 : 6/14] [表彰式 : 6/20]	県民の緑花意識の向上と花の普及を目的として、コンテナガーデンの腕前(デザイン・管理など)を競うコンテストを実施した。50人の参加者が県内の生産者が育成した花苗28種類1,000鉢の中から8鉢を選び、指定のコンテナに植え込み、約2週間後の審査を経て「初夏を彩る花まつり2021」最終日まで管理を行い、園内を彩った。	50

イ 県民緑花カレッジ講座

名 称	月 日	内 容	延べ人数 (人)
温室なしで育てる洋ラン	5/15(土) 7/10(土) 10/9(土) 11/6(土)	温室なしでも栽培可能なランの年間管理を学ぶ。 [全4回]	40
洋ランを育ててみよう	5/15(土) 7/10(土) 10/9(土) 11/6(土)	カトレヤやランの年間管理について学ぶ。 [全4回]	40
花の撮影教室	5/18(火) 6/1(火) 7/6(火) 8/3(火)	バラや草花など園内に咲く花を撮影し、どのような作品作りをするかについて学ぶ。 [全4回]	36
バラづくり 中級コース ※9/1新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため中止	6/9(水) 7/14(水) 12/1(水) 3/2(水)	つるバラを新苗から育てる実際を学ぶ。 [全5回]	80

バラづくり 初級コース ※9/4新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため中止	6/12(土) 7/17(土) 12/4(土) 3/5(土)	四季咲きバラを新苗から育てる実際に学ぶ。 [全5回]	80
フラワーアレンジメント 基礎コース	7/3(土) 10/3(日) 12/25(土) 2/26(土)	プリザーブドフラワーを用いたアレンジメントや、季節の生花を用いたアレンジメントの基礎を学ぶ。 [全4回]	76
フラワーアレンジメント 応用コース	7/3(土) 10/3(日) 12/25(土) 2/26(土)	プリザーブドフラワーを用いたアレンジメントや、季節の生花を用いたアレンジメントの応用を学ぶ。 [全4回]	76
植物画ボタニカルアート	3/6(日) 3/13(日) 3/20(日) 3/27(日)	屋内外の植物画について学ぶ。 [全4回]	52

ウ 県民緑花オープン講座実施

名 称	月日	内 容	人数 (人)
県民緑花オープン講座 (第1回～11回開催) ※8/22新型コロナウイルス 感染症拡大防止のため中止	5/22(土) 6/5(土) 7/22(木・祝) 10/2(土) 10/30(土) 11/13(土) 11/20(土) 11/27(土) 12/11(土) 12/26(日) 1/22(土)	生産者から学ぶ初夏の寄せ植えづくり、多肉植物の寄せ植えづくり、花と緑の病害虫対策、生産者から学ぶ宿根サルビアの寄せ植えづくり、スイセンと秋植え球根の寄せ植えづくり、雪吊りの基礎、プリザーブドフラワーアレンジメント「クリスマス」、生産者から学ぶブルーベリーの育て方、生産者から学ぶ冬の寄せ植えづくり、フラワーアレンジメント「お正月」、生産者から学ぶ早春の寄せ植えづくりについての講座を行った。 [全12回]	262

④ スイセンほ場の管理

現在の保存品種225品種について、形質を良好な状態で維持・管理した。4月上旬からの開花期には見ごろ看板を設置し、来園者を開花中のほ場へ誘導してスイセンの魅力をPRした。

⑤ 立体花壇及びモデル花壇、バラ花壇等管理

立体花壇（正面入り口：ウォール）の図柄について、4～6月はビオラを使いチューリクんとリップちゃんが遊ぶ姿、7月～11月はハートを描いた。

モデル花壇では、とやま鉢花組合で生産された花苗を植栽し良好に管理した。

バラ花壇では50品種のバラを維持管理して、5月下旬～6月上旬、10月中旬～11月上旬の開花時期には新聞等に取り上げられ多数の来園者があった。

⑥ 展示温室の管理

年間を通じ亜熱帯性植物や洋ラン類を良好な状態で維持管理して展示した。

⑦ 富山県花総合センター利用者増への取組

花まつり等イベントや季節展示、花の見頃情報、講座の募集についてのPRをチューリップ四季彩館と一体的に行ったほか、広報となみやリップちゃんのブログ、ホームページを活用し相互の連携を図るとともに、ポスターやチラシを配布した。また、イベント開催を案内する看板やのぼり旗を設置しPRを行った。

花まつりの開催中に実施した寄せ植え体験コーナーやとやま鉢花生産者組合青年部による花苗の販売が来園者に好評であった。

花まつり以外の期間も季節感のある展示テーマを設け、季節展示を展示ホールにて行った。

⑧ 施設設備の維持管理

展示ホール非常用照明器具取替修繕、高圧引込気中開閉器取替修繕、展示温室内張カーテン張替修繕などの修繕を実施した。

3 公益目的事業3

(1) となみ散居村ミュージアムの管理・運営

① 施設・設備の管理・運営

指定管理者として、ミュージアムの施設管理を適正に実施した。敷地内の美化については、除草、防除、剪定など適時実施し、施設の不具合等については、速やかに修繕を実施した。

散居村の保全活動等については、散居村に関する写真・パネル等の常設展示のほか、小学校のふるさと学習等を受け入れるなど、散居村に対する理解を深める一方、散居景観保全枝打ち研修会を開催し、散居景観保全活動や剪定技術を学習した。

また、博物館類似施設としてレファレンス業務に対応した。

空き家利活用事業及び砺波散村地域研究所事業の受託業務を実施した。

となみ野田園空間博物館推進協議会事務局及び全国散居村連絡協議会業務を担った。

施設利用状況

区 分	利用 者 数		利用 対 比 R3/R2
	令和3年度	令和2年度	
情報館・交流館・伝統館	19,235人	15,822人	121.6%
民具館	3,405人	2,864人	118.9%
合 計	22,640人	18,686人	121.2%

② 展示・施設利用

ア 企画展示等

名 称	期 間 (日数)	内 容	人 数 (人)
情報館	4/1(木) ～ 3/31(木)	エントランスで散居村に関する写真・パネル等の常設展示	19,235
民具館	4/1(木) ～ 6/27(日)	第48回企画展 松本 昌子 創作人形展 時間も空間も超えて…	1,009
	7/3(土) ～ 11/7(日)	第49回企画展 床 サユリの粘土アート ～ 昔話に心を寄せて ～	903
	11/13(土) ～ 3/6(日)	第50回企画展 堀内 章代 和紙造形展 静寂なる美しさ… 悠久紙	1,173
	3/12(土) ～ 3/31(木)	第51回企画展(会期 R4.7.3まで) 佐竹 清 版画展 ～ 散居と立山のある風景 ～	158
	[表彰式] 4/18(日) [展示] 4/17(土) ～ 5/31(月)	第20回となみ野散居村フォトコンテスト・ビエンナーレ 表彰式、作品展示 巡回展示 いのくち椿館、南砺市役所、イオンモール となみ店	4,788

イ 常設展示

展示名	内容等
情報館	エントランス、ワクノウチにて散居村関連パネル等の展示
民具館	生活・生産用具（国重文）の展示

③ となみ野田園空間博物館推進協議会の業務受託
担当者会議、幹事会、総会の開催

ア 散居村学習講座

名称	期 日	内 容 等	人数（人）
第1回 学習講座	5/22(土)	寛文年間（江戸前期）に生まれた港町 明治期に建てられた廻船問屋が残る町並み 職藝学院 准教授 森本 英裕 氏、竹島家主 竹島 精一 氏、郷土研究家 尾田 武雄 氏	41
第2回 学習講座	7/3(土)	浅野総一郎翁の足跡 未来をつくってきた男「浅野総一郎の贈り物」 全国浅野総一郎友の会代表世話人 山崎 健 氏	60
第3回 学習講座	8/5(木)	佐々成政と五箇山一向一揆 とやま歴史的環境づくり研究会 高岡 徹 氏	50
第4回 学習講座	9/18(土)	地方の現場で記者は何を見て来たか ～消滅しないための9つのキーワード～ 文芸春秋連載地域ジャーナリスト 葉上 太郎 氏	30
第5回 学習講座	10/9(土)	砺波散居村における農村景観の維持管理主体の 変貌と課題～新たな農村政策の観点から 高岡法科大学教授 石川 啓雅 氏	50
第6回 学習講座	10/30(土)	地域で学問すること ～佐伯安一先生の民俗学の重要性と可能性～ 國學院大学准教授 石垣 悟 氏	70
第7回 学習講座	11/27(土)	少子高齢化・人口減少社会の地域を持続可能に する交通を考える 交通ジャーナリスト 鈴木 文彦 氏 ワークショップ ～クルマだけに頼らない暮らしを考える～ アドバイザー 鈴木文彦氏、本田豊氏（富山大学 教授）	40

イ 学習資料の作成

「となみ野散居村展望施設ガイド」

「昔の米作りパンフレット」

「砺波地方の昔の農事と祭り・行事パンフレット」

「散居村紹介チラシ・パネル」の刷新 ーとなみ散居村の成立ーなど

ウ 第15回小中学生写真コンテストおよび写真展の実施 応募総数672点

エ 「あずまだち高瀬」「いのくち椿館」との連携事業を実施
いのくち椿まつりの開催

- ④ 空き家利活用事業の業務受託
市民生活課砺波暮らし推進班と連携し、空き家情報を収集した。
空き家利活用希望者及び移住検討者に対し、空き家情報の提供、内覧業務を行った。

ア 定住体験施設「佐々木邸」の管理及び利用者の受け入れ

利用期間	利用組数	利用人数
52日間	11組	34人

イ 第2のふるさと発見事業として、都市部の大学ゼミ活動の受け入れ

期日	大学ゼミ名	人数(人)
10/2(土)	富山大学 中井教授ゼミ	16

※コロナ禍のため宿泊活動は停止

- ⑤ 砺波散村地域研究所事業の業務受託
研究機関等と連携した散村に関する総合的な調査研究の実施
となみ野の景観資源の活用に向けた研究の実施
例会の開催、小学3年生を対象としたふるさと学習の協力
研究紀要第38号の刊行
高校等又は生涯学習団体の研究学習活動に対する支援

名称	期日	内容等	人数(人)
運営協議会	6/25(金)	令和2年度事業報告、令和3年度事業計画について	11
第1回所員会議	6/27(日)	研究紀要第38号の刊行報告、令和3年度事業実施方法について協議	12
第78回例会	6/27(日)	○発表 砺波地区の備荒対策について～近代の義倉制度を中心に～ 砺波散村地域研究所員 中明 文男 氏 桑山に分布する中新世蔵原層上部疑灰角礫岩の岩質について 富山地学会 土生居 弘 氏 ○講演 地域人口分布から見た農村の社会変動～東海地方の事例～ 名古屋大学教授 高橋 誠 氏	24

名称	期 日	内 容 等	人 数 (人)
第2回 所員会議	10 / 17 (日)	第79回例会の開催について ほか協議	10
第79回例会	11 / 13 (土)	○発表 雪との付き合い方の変化と次世代への継承 ～南砺市高瀬神子畑地区における雪対策の発展・衰退～ となみ総合支援学校 西野 由希子 氏 春日神社(砺波市東宮森地区)の鰯口について となみ土蔵の会 白江 秋広 氏 『佐伯安一の軌跡』展より 砺波散村地域研究所所員 安カ川恵子氏 ○講演 イワシ・ニシンからみた加賀藩領社会 金沢大学准教授 上田 長生 氏	50
ふるさと学習 講座 (小学3年生)	11 / 18 (木) ～ 3 / 8 (火)	散居村ミュージアム民具館受入れ 8校 1月14日(金) 井波小学校 41人 1月18日(火) 城端小学校 54人 1月25日(火) 砺波南部小学校 40人 1月27日(木) 福光南部小学校 12人 1月28日(金) 砺波東部小学校 94人 2月 4日(金) 福光中部小学校 53人 2月 7日(月) 福光東部小学校 51人 3月 8日(火) 福野小学校 104人 砺波民具展示室(庄東小学校内)受け入れ 4校 11月18日(木) 庄川小学校 36人 1月19日(水) 庄東小学校 28人 1月21日(金) 鷹栖小学校 24人 1月26日(水) 砺波北部小学校 62人	449 (559)
第3回 所員会議	3 / 19 (土)	令和3年度事業報告、令和4年度事業計画について協議	12

4 収益目的事業1（施設貸与事業）

施設貸与事業は、市民の文化・教養活動や福祉の増進、或は興行・商業宣伝等のために、砺波市民並びにその他の者に各施設を貸与し、利用者の利便を図った。

（1）砺波市文化会館施設貸与事業

- ① 公益目的以外で大ホール、練習室等の施設の貸与を行った。
1 公益目的事業1（2）砺波市文化会館施設管理運営事業 ① 施設利用状況のとおり

（2）砺波市砺波農村環境改善センター施設貸与事業

- ① 施設利用状況

施設名	区 分		利 用 日 数			利 用 者 数		
			3年度	2年度	利用対比 R3/ R2	3年度	2年度	利用対比 R3/ R2
改善センター	多目的ホール	利用日数	日 164	日 141	% 116.3	人 18,139	人 10,169	% 178.4
		利用率	54%	46%	—			
	その他 (5部屋)	利用日数	634	483	131.3	8,233	6,836	120.4
		利用率	42%	31%	—			
	合 計	利用日数	798	624	127.9	26,372	17,005	155.1
		利用率	44%	34%	—			

（3）庄川水資料館施設貸与事業

- ① 公益目的以外で映像ホールの貸与を行った。

区 分	利 用 者 数		
	令和3年度（人）	令和2年度（人）	備 考
映像ホール	0	0	

（4）庄川生涯学習センター施設貸与事業

- ① 公益目的以外で多目的ホール、研修室等の施設の貸与を行った。
1 公益目的事業1（9）庄川生涯学習センター施設貸与事業 ① 施設利用状況のとおり

（5）チューリップ四季彩館施設貸与事業

- ① 公益目的以外でホールの施設の貸与を行った。
1 公益目的事業2（4）チューリップ四季彩館の管理運営事業 ① 施設の管理、施設利用状況のとおり

（6）富山県花総合センター施設貸与事業

- ① 公益目的以外で研修室等の施設の貸与を行った。

(7) となみ散居村ミュージアム施設貸与事業

- ① 公益目的以外で交流館等の施設の貸与を行った。

区 分	利 用 者 数		
	令和3年度(人)	令和2年度(人)	備 考
研修室ほか	6,195	6,372	

5 収益目的事業2(付帯事業)

付帯事業は、市民の教養や福祉の増進、あるいは美術資料の収集のためにサービスを提供し、もって利用者の利便を図った。

(1) 砺波市文化会館付帯事業

- ① 砺波市文化会館ホールメイト事業は、会員登録を行うことにより、砺波市文化会館事業のチケットを、通常より2週間早くまた5パーセント引きで購入できる先行販売の特典があるサービスを行った。

また、他施設の公演チケットの受託販売及び施設利用者へのコピーサービス等を行った。

(2) 砺波市美術館図録販売等事業

- ① 美術展図録、ミュージアムショップでのポスター等の販売及び他施設の美術展入場券の委託販売を行った。

(3) 庄川美術館図録販売事業

- ① 美術展図録及び他施設の美術展入場券の委託販売を行った。

(4) 水資料館付帯事業

- ① 公益目的以外で映像ホールの貸与を行った。
② ポストカード等の販売を行った。

(5) 庄川生涯学習センター付帯事業

- ① 公衆電話の設置及び他施設の公演チケットの受託販売並びに施設利用者へのコピーサービス等を行った。

(6) チューリップ四季彩館付帯事業

- ① 花苗及び緑化に関する製品・記念品等の販売を行った。

(7) 富山県花総合センター付帯事業

- ① 花苗や花鉢の販売を行った。

(8) となみ散居村ミュージアム付帯事業

- ① 書籍等の販売を行った。